

2016年11月15日

ワシントンから

広島市の川野登美子様へ

親愛なる登美子

あなたからの心がこもった贈り物に、心から感謝申し上げます。  
そして、私があなただのストーリーを共有することができ、感謝申し上げます。

私は核兵器のない世界の実現への取り組みを再度確認するために広島を訪問しました。

私たちには、歴史を直視し、そのような苦しみを繰り返さないために何をしなければならないかを問う共通の責任があります。

被爆者によって設定された事例を通して、私たちは戦争の能力ではなく、共通の人間性によって自分自身を定義することができます。あの運命の日から、私たちは私たち自身に希望を与える選択肢をもつてきました。あなたが経験された物語は、私たちがどれほど遠くまでやって来たかの証です。より多くの人々が過去を理解し、思いやりを抱く時間を持つことができれば、より明るく平和な未来があると私は確信しています。

改めて、あなたの心のこもった贈り物に感謝します。あなたの人生に幸あれ。

敬具

バラク・オバマ